

令和5年度事業報告

1 警備業務の適正化に関する指導及び調査研究

(1) 警備業務の適正化

警備業業務の適正化に向け、令和5年9月に改訂された「警備業における適正取引等に向けた自主行動計画」の周知・実践に努めるとともに、警備業界における暴力団等排除の機運を醸成するため、不当要求防止責任者講習、愛知県警備業暴力団等反社会的勢力排除対策協議会役員総会をそれぞれ開催した。また、令和5年10月27日、鈴木業務委員長が講師となり、労務単価研究会を開催し、21社21名が参加した。

(2) 専門委員会、部会、支部活動の強化

ア 各委員会の活動

各委員会を下記のとおり開催し、所掌事項の研究と協会事業の円滑な推進に努めた。

(ア) 総務委員会

- ・開催日 令和5年4月13日(木)
開催場所 当協会 研修室
参加者 谷川委員長以下6名
議題 令和4年度事業報告及び決算報告など
- ・開催日 令和6年2月28日(水)
開催場所 当協会 研修室
参加者 谷川委員長以下9名
議題 令和6年度事業計画(案)、収支予算(案)など

(イ) 広報委員会

- ・開催日 令和5年7月21日(金)
開催場所 当協会 研修室
参加者 松本担当副会長、早田委員長以下8名
議題 セキュリティアイチ8月号の発刊についてなど
- ・開催日 令和6年1月17日(水)
開催場所 当ビル3階 第2会議室
参加者 松本担当副会長、早田委員長他12名
議題 令和5年度広報活動状況及び令和6年度広報活動計画
協会ホームページのリニューアルについてなど

(ロ) 教育委員会

- 開催日 令和6年2月2日(金)
開催場所 当協会研修室

参加者 田中担当副会長、村木委員長以下8名
議 題 令和5年度法定教育及び特別講習等の実施状況
令和6年度法定教育及び特別講習等の実施計画など

(エ) 労務委員会

開催日 令和5年5月17日(水)
開催場所 当協会 研修室
参加者 高山委員長以下9名
議 題 令和5年度労働安全研修会の開催についてなど
※ 労働安全研修会、令和5年7月5日(水)、東文化小劇場で開催

(オ) 業務委員会

開催日 令和5年9月8日(金)
開催場所 当ビル3階 第2会議室
参加者 上村担当副会長、鈴木委員長以下9名
議 題 令和5年度労務単価研修会の開催についてなど
※ 労務単価研修会、令和5年10月27日(金)、当協会研修室で開催

(カ) 災害対策等委員会

開催日 令和5年12月12日(火)
開催場所 当ビル3階 第2会議室
参加者 上村担当副会長、勝野副委員長以下9名
議 題 令和5年度災害協定に基づく出動要請訓練の実施についてなど

イ 青年部会の活動

(ア) 令和5年度通常総会の開催

開催日 令和5年6月8日(木)
開催場所 当ビル3階 第1会議室
議題 「役員改選」、「令和4年度事業報告、収支決算報告」、「令和5年度事業計画、収支予算」など

(イ) DX(デジタル・トランスフォーメーション)研修会

開催日 令和5年9月27日(水)
開催場所 当ビル3階 第1会議室
講演 (株)幸建 代表取締役 山本邦夫 氏
演題「今さら聞けないDX 企業が取り組むDX推進術とは」

(ウ) 名古屋市内養護施設への寄附活動

令和6年2月14日(水)、早河副部長他は、名古屋市内の養護施設13か所に非常食セットを寄贈。併せて名古屋市民間社会的養育施設長会に10万円を寄付した。同日名古屋市長から感謝状を授与。

(エ) 全国青年部会長会議 inIBRAKI に出席

令和6年2月28日(水)、茨城県水戸市内で全国青年部会長会議が開催さ

れ、当協会水谷青年部会長他が出席し、全国の青年部会の活動報告、意見交換会での情報共有など全国の青年部会長との懇親を深めた。

ウ 各支部の活動

令和5年4月14日（金）から同月25日（火）の間に各支部において、研修会及び総会が開催された。各研修会においては、愛知県警察本部生活安全総務課警備業係担当官から「警備業における当面の諸問題」について講義を受けた。

この他、年間を通じて役員会・勉強会を開催するなど活発に活動した。

また、各支部とも支部を管轄する警察署と連携して、交通誘導警備業務に従事する警備員を対象として、安全パトロールを計9回実施し、現場における警備業務の適正な実施を図った。

(3) 労働安全研修会開催

開催日 令和5年7月5日（水）

開催場所 東文化小劇場

参加者 29社133名

内容

- ・講演1 「警備業における労働災害事故の現状と事故防止対策について」
愛知労働局労働基準部安全課 安全専門官 桜木 勉 氏
- ・講演2 「ながら運転の危険性あれから7年～今も敬太とともに～」
愛知県立佐織特別支援学校教諭 則武崇智 氏
- ・講演3 「警備業の実態と業務中の受傷事故防止」
愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課 警備業係
係長 小澤 忍 氏

(4) SDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた取組みの継続推進

ア 警備員の知識及び能力の向上

法定（新任・現任）教育、特別講習の充実及び特別講習合格率の向上のための事前講習、直前対策セミナーを実施した。

イ 警備員の処遇の向上

適正な処遇実現のために労務単価研究会の開催や労災事故の防止のための労働安全研修会を実施した。

ウ 総合的かつ効果的な災害支援活動

愛知県警察本部及び愛知県が開催した防災訓練等に積極的に参加するとともに、災害支援協力隊の再編成に伴い装備品、保存食、保存水などの計画的配備を進めた。

また、1月1日発生の能登半島地震の被災地である七尾市に避難所警戒活動のため、1月6日から同9日まで災害支援隊6名を派遣した。

エ 安心して暮らせる安全な社会の実現

愛知県警察本部と連携して多発する特殊詐欺被害防止、侵入盗防止のた

めの啓発活動を実施するとともに、犯罪防止広報・啓発用資機材デジタルサイネージ（50インチモニター2台）の寄贈や特殊詐欺捜査協力報奨金制度への継続参画、無事故・無違反チャレンジファイナル100日ラリー等を実施した。

また、令和6年3月13日（水）、愛知県警察本部生活安全部長と小塚会長により「安全・安心なまちづくりの推進に関する協定」を締結し、安心安全な社会実現のための取組みを強化した。

オ 地球環境にやさしい活動

再生紙の使用及びペーパーレス化の推進、ペットボトルの削減などにより環境にやさしい活動を更に推進した。

(5) 労災事故等防止活動の充実

労働安全研修会の開催、交通誘導業務中における労災事故の防止を目的に各支部において実施した安全パトロールへの同行、事故発生に伴う協会ホームページを通じての労災事故防止啓発を実施した。

また、交通事故防止・交通安全意識の高揚を目的に令和5年9月23日（金）から同年12月31日（土）までの100日間、「無事故・無違反チャレンジファイナル100日ラリー」を開催し、13チーム（各チーム5名）が参加し、全てのチームが無事故・無違反を達成し、参加企業をはじめ、会員の皆様の交通安全意識の醸成に努めた。

全国警備業協会主唱の労働災害防止「論文・ポスター・標語」の公募等に参加し、当協会には論文7点、ポスター5点、標語806点の応募があり、優秀作品9作品（9名）を全警協に送付した。なお、同優秀作品については令和6年度定時総会において会長表彰を授与する予定である。

(6) 調査への協力

（一社）全国警備業協会、関係行政庁等が行う警備業務適正化のための「自主行動計画」に関する調査研究や警備業の実態調査等に積極的に協力した。

2 教育センターにおける各種教育、講習など教育事業の適正な推進

(1) 多様なニーズに応える教育事業の推進

会員企業からの要望が多かった法定（現任）教育の土曜日・日曜日開催を実施するとともに全警協のeラーニングの普及に努めた。

また、警備業指導教育責任者の資質向上などを目的とした「警備業指導教育責任者レベルアップセミナー」の開催を令和5年4月21日（金）、同年11月20日（月）の2回開催し、101名が参加した。

更に、警備員指導教育責任者講習受講希望者を対象とした基礎講習を企画、令和5年5月25日（木）、26日（金）の2日間開催し、40名が受講、警備員指導教育責任者資格取得向上を図った。

(2) 法定教育の充実強化

法定警備員教育には、

延べ6,557名（うち非会員 337名）（前年度対比+267名）

が受講し、その内訳は、

新任教育（業務別新任教育を含む） 延べ2,883名（同比+342名）

現任教育 延べ3,674名（同比-75名）

であった。

区 分	会 員	非 会 員	計	対前年比
新任警備員教育	2,754名	129名	2,883名	342名
	2,422名	119名	2,541名	-301名
現任警備員教育	3,466名	208名	3,674名	-75名
	(92名)	(0名)	(92名)	(13名)
(内出張教育)	3,564名	185名	3,749名	-328名
	(79名)	(0名)	(79名)	(-112名)
計	6,220名	337名	6,557名	267名
	5,986名	304名	6,290名	-629名

※ 下段は前年度、新任警備員教育は延べ人員である。

・ 職業訓練校としての新任警備員教育

平成3年4月に職業訓練校として認定を受けて以来訓練を実施しているが、令和5年度中に認定訓練校生として警備員教育を行った人員は、次のとおりであった。

新任警備員教育受講者 1,309名（前年度 1,154名）

（内訳）施設警備業務 717名（前年度 566名）

雑踏警備業務 592名（前年度 598名）

※ 2日間修了者を1名として計上

なお、令和5年度末をもって、愛知県の認定訓練校制度を返上した。

また、全警協が令和4年4月4日から提供を開始したeラーニングのID契約件数は年度末165件であった。

(3) 特別講習の充実強化

(一社)警備員特別講習事業センターからの委託事業である特別講習の実施状況は、

- ・ 施設警備業務～2級4回、
受講者268名（うち再受講16名）、合格者204名（うち再受講8名）
合格率76.1%
- ・ 交通誘導警備業務～2級8回、
受講者546名（うち再受講50名）、合格者338名（うち再受講19名）
合格率61.9%
- ・ 雑踏警備業務～1級1回、2級3回、
1級～受講者69名（うち再受講0名）、合格者55名、合格率79.7%

2級～受講者 188 名(うち再受講 10 名)、合格者 147 名(うち再受講 7 名)
 合格率 78.2%

・ 貴重品運搬業務～2級1回

受講者 64 名(うち再受講 0 名)、合格者 46 名、合格率 71.9%
 であった。

種 別	実施回数	受 講 者	合 格 者	合 格 率
施設警備業務 1 級	—	—	—	—
	1	59 名	36 名	61.0%
雑踏警備業務 1 級	1	69 名	55 名	79.7%
	—	—	—	—
貴重品運搬警備業務 1 級	—	—	—	—
	1	21 名	19 名	90.5%
施設警備業務 2 級	4	268 名	204 名	76.1%
	5	321 名	246 名	76.6%
交通誘導警備業務 2 級	8	546 名	338 名	61.9%
	9	630 名	432 名	68.6%
雑踏警備業務 2 級	3	188 名	147 名	78.2%
	2	118 名	105 名	89.0%
貴重品運搬警備業務 2 級	1	64 名	46 名	71.9%
	1	45 名	39 名	86.7%
合 計	17	1,135 名	790 名	69.6%
	19	1,194 名	877 名	73.5%

※ 下段は前年度

(4) 警備員指導教育責任者等の講習会及び研修会の開催

愛知県警察本部からの委託講習である警備員指導教育責任者講習等の実施状況は、

・ 新規

- 1号業務 4回 受講者 123 名 合格者 72 名 (合格率 58.5%)
- 2号業務 5回 受講者 158 名 合格者 54 名 (合格率 34.2%)
- 3号業務 1回 受講者 19 名 合格者 11 名 (合格率 57.9%)
- 4号業務 1回 受講者 1 名 合格者 0 名 (合格率 0%)

・ 追加

- 2号業務 1回 受講者 17 名 合格者 12 名 (合格率 70.6%)
- 3号業務 1回 受講者 1 名 合格者 0 名 (合格率 0%)
- 4号業務 1回 受講者 8 名 合格者 8 名 (合格率 100%)

であった。

合格率は、全般に低調であり、特に2号業務が低調であった。

また、警備員指導教育責任者現任講習は、

1号業務 8回 受講者 220名

2号業務 9回 受講者 260名

であった。

種 別	回数	受講者	受験者	合格者	合格率
新規取得講習	11	305名	301名	137名	45.5%
	10	278名	278名	122名	43.9%
追加講習	3	26名	26名	20名	76.9%
	4	35名	35名	25名	71.4%
現任講習	17	480名			
	15	453名			
機械警備業務管理者講習	-	-	-	-	-
	1	21名	21名	14名	66.7%
合 計	31	811名	327名	157名	48.0%
	30	787名	334名	161名	48.2%

※ 下段は前年度、受験者等については現任講習を除く

・ 警備員指導教育責任者研修会の開催

開催日 令和5年9月26日(火)

開催場所 名古屋市芸術創造センター大ホール

参加者 298名

内 容

- ・ 講演1 「女性経営者だからこそ、きめ細かな警備業を実践！」
～警備の仕事はカッコいい！～
株式会社MOCO(モコ) 代表取締役 寺口智子 氏
- ・ 賛助会員による警備員制服などのファッションショー
- ・ 講演2 「警備員指導教育責任者の責務」
愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課警備業係
係長 小澤 忍 氏

(5) 機械警備業務管理者研修会の開催

開始日 令和5年11月22日(水)

開催場所 当協会研修室

参加者 機械警備業務管理者及び同資格者 24社 29名

内 容

- ・ 講演1 「基地局からの指令要領」
総合警備保障株式会社 名古屋支店 福田 朗 氏
- ・ 講演2 「迅速的確な指令業務」及び「誤報の防止」

- 愛知県警察本部地域部通信指令課 係長 加納昭男 氏
- ・ 講演 3 「適正な機械警備業務の実施」
愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課警備業係
係長 村松広之 氏

(6) 警備業に関する各種講習会への講師派遣

ア 講師体制の確立

当協会講師体制（令和5年4月1日現在）

- ・ 警備員指導教育責任者講習講師 46名
- ・ 機械警備業務管理者講習講師 12名
- ・ 特別講習講師 50名

イ 各種講習会への講師派遣

- ・ 警備員指導教育責任者等講習
新規取得、追加、現任及び機械警備業務管理者
計31回 派遣講師 221名
- ・ 特別講習
計17回 派遣講師 197名
- ・ 公安委員会直接検定
今年度派遣なし
- ・ 県外派遣（応援）
4回 派遣講師 11名

(7) 講師の資質向上と若手講師の育成

ア 中部地区特別講習講師合同研修会の開催

開催日 令和5年11月30日（木）、12月1日（金）

開催場所 当協会 研修室

参加者 中部6県特別講習（雑踏警備業務）講師 25名

内 容

○ 11月30日

- ・ あいさつ

中部地区警備業協会連合会会長 小塚喜城

- ・ 講話1 （一社）全国警備業協会研修センター長 前島秀規 氏
「研修会の目標」

- ・ 講話2 （一社）全国警備業協会研修センター
次長兼技研強化コーチ 山本正彦 氏
「警備業のデジタル化について」

- ・ 講話3 （一社）全国警備業協会研修センター
技研部員 板垣将司 氏
「業務管理（雑踏警備業務1級）について」

○ 12月1日

- ・学科模擬講義（雑踏警備業務2級）
各県代表による15分程度の模擬講義を実施
- ・実技指導要領検討発表会

この研修会により、特別講習（雑踏警備業務）講師の資質向上、若手育成に貢献し、研修会終了後、意見交換会により中部地区内講師の親睦を深めた。

イ 講師合同研修会の開催

開催日 令和6年3月6日（水）

開催場所 名古屋市中区錦1丁目8番37号

グローオリエンタルナゴヤ2階「ザ・グローレジデンス」

参加者 新任現任教育、警備員指導教育責任者及び特別講習講師 46名

内容

- ・令和5年度各種教育事業等の推進状況及び令和6年度の推進予定について
- ・講話「警備業担当官から見た各種教育事業等について」
愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課
課長補佐 後藤守孝 氏

ウ 特別講習講師に若手女性講師を委嘱

当協会会員企業の若手女性が全警協の実施する講師研修会を受講し、（一社）警備員特別講習事業センターから施設警備業務2級特別講習講師に委嘱されるなど、若手講師育成を図った。

エ 第88回セキュリティ・プランナー講習

令和5年9月29日（金）から同年10月1日（日）の3日間、全警協が開催するみだしの講習について開催地事務局として業務に当たった。

3 会議の開催

(1) 定時総会

開催日 令和5年5月31日（水）

場 所 名古屋市中区金山町一丁目1番1号

ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋

「ローズルームⅠ・Ⅱ」

出 席 395社（うち書面決議231社、委任状45社）

通常形式により開催

(2) 理事会

第1回 令和5年4月24日（月）～愛知県警備業協会研修室

第2回 同 年5月31日（水）～グランコート名古屋（役員改選）

第3回 同 年9月7日（木）～第一富士ビル3階 第1会議室

第4回 同 年12月13日（水）～愛知県警備業協会研修室

第5回 令和6年3月18日（月）～愛知県警備業協会研修室

(3) 支部長会議

開催日 令和5年7月26日(水)

開催場所 当協会 研修室

参会者 会長、各支部長及び協会事務局

議題 各支部の問題点、支部運営方法等

4 広報啓発活動の積極的推進

(1) 人手不足解消、業界の知名度のアップに資する広報啓発

ア ハローワーク主催の警備業セミナーに参画し、令和5年6月13日(水)、ハローワーク名古屋南、令和6年3月6日(水)、ハローワーク名古屋中でそれぞれ警備の仕事に関する講演、交通誘導警備業務における旗振り体験等を通じて、参加者に対して警備業務の魅力とやり甲斐を紹介した。

今後も公共職業安定所(ハローワーク)等と連携を密にし、継続的に実施する予定である。

イ 名古屋市高齢者就業支援センターと共催で「警備業界シニア就職フェア」を開催

令和5年12月7日(木)、同月8日(金)の2日間、同フェアに職員を派遣し、参加者に対して魅力ある警備業務等を紹介するとともに人材確保に向けた広報啓発を進めた。

ウ 愛知県「中小企業人材確保支援事業」への協力

愛知県が実施する当該事業を会員会社に紹介し、10社の参加を得るなど事業協力を行った。

エ 「あいち就職氷河期世代活用支援プラットフォーム」への継続参画

引き続き、「あいち氷河期世代活躍支援プラットフォーム」に参画し、就職氷河期世代の就職、正社員や社会参加の実現などに取り組んだ。

(2) 協会、業界への理解を深める広報啓発

ア 広報媒体を活用した広報啓発活動

(ア) 業界紙による広報啓発

業界紙である「警備保障タイムズ」に当協会の活動を積極的に投稿し、広く警備業界への広報を行った。

(イ) 協会ホームページの充実

協会が行う各種行事や有益な情報をタイムリーかつ正確に伝達するため、ホームページの情報を逐次更新し充実を図るとともに、見やすさ、利用しやすさやデジタル化への対応を考慮したりリニューアルを進め、令和6年4月1日に新ホームページの運用を開始するべく作業にあたった。

(ウ) 愛知県警察と連携した広報啓発活動

○ 令和5年5月21日(日)、名古屋市中区において、愛知県警察本部、愛知県中警察署と連携し、タレント(元SKE48)矢方美紀さんを一日警察

署長として住宅対象侵入盗防止キャンペーンを開催。啓発品として「侵入盗防止アラーム」100個を寄贈し、共同での広報啓発活動を行った。

- 令和5年10月18日(水)、名古屋市中区内において、愛知県警察本部、愛知県中警察署と連携し、名古屋テレビアナウンサー望木聡子さんを一日警察署長として特殊詐欺被害防止キャンペーンを開催。特殊詐欺被害防止啓発品としてスイングポップなどを寄贈し、被害防止広報と併せて11月1日「警備の日」のクリアファイルなどを約200人に配付するなど広報啓発活動を行った。

- (I) スポーツ紙を活用した岐阜・三重・愛知の3県警備業協会合同による広報啓発

「11月1日、警備の日」を中日スポーツ広告欄に掲載し、スポーツ紙購読者(約20万部)に対して広く「警備の日」の広報啓発を行った。

イ 機関誌・広報紙の発行

- (ア) 「セキュリティアイチ60号(8月号)」の発刊

「新役員の紹介」、「役員の一ひとりごと」のほか、特集として「加盟会社による労働災害事故発生状況」、「運転記録証明書・SDカードはご存知ですか？」等事故防止に向けた情報を掲載した。

- (イ) 「セキュリティアイチ61号(1月号)」の発刊

会長、愛知県警察生活安全部長、愛知労働局長の年頭あいさつ、特集として愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会の展望(競技大会組織委員会への派遣職員の思い)、ホームページのリニューアルなどについての新たな取組等についての情報を掲載した。

5 警備業に関する功労者等の表彰(主なもの)

- (1) 一般社団法人全国警備業協会定時総会(令和5年6月7日)

警察庁長官・(一社)全国警備業協会会長連名表彰

谷川 貢 日本安全警備株式会社 代表取締役

- (2) 警備業全国労働安全衛生大会(令和5年7月6日)

(一社)全国警備業協会会長表彰

論文の部1位 題名 労働災害撲滅へ「三本の矢」

谷澤友紀 (株)アイシン・コラボ

- (3) 安全なまちづくり愛知県民大会(令和5年10月17日)

(公社)愛知県防犯協会連合会会長表彰

2023全国地域安全運動・全国暴力追放運動ポスター募集

最優秀賞 伊東貴志 エヌビーエス(株)

- (4) 令和5年全国暴力追放運動中央大会(令和5年11月30日)

全国暴力追放推進センター会長表彰

2023全国地域安全運動・全国暴力追放運動標語募集

- 全国最優秀賞 橘 啓介 (株)トヨタエンタプライズ
(5) 令和5年度全国事務担当者会議(令和6年2月9日)
永年勤続表彰

村山 智子(勤続30年以上)
山下 利克(勤続10年以上)

- (6) 表彰式及び定時総会

- ア 愛知県警察本部長・(一社)愛知県警備業協会会長連名表彰
団体の部

岡崎セキュリティサービス(株)
つばめ自動車(株)
日綜警備(株)

- 個人の部

今井 康雄 NX キャッシュ・ロジスティクス(株)中日本支店 統括支店長
寺井 浩一 (株)エレステ警備保障 代表取締役
早河 宏紀 (株)ミヤコ警備保障 代表取締役

- 教育功勞の部

都築 幸雄 警備員指導教育責任者講習講師
酒井 元子 (株)サン総合メンテナンス
水野 剛志 (株)コアズ

- イ (一社)愛知県警備業協会会長表彰

- 優良警備員の部

大平 尚史 愛知警備保障(株) 以下99名

- 退任役員等特別功勞者の部

加藤 中夫 前理事 中京警備保障(株) 代表取締役
日下 正晴 前理事 大日警備保障(株) 代表取締役社長
水藤 維人 前監事 管財(株) 代表取締役社長
野村 務 (一社)愛知県警備業協会 前参事
藤村 英治 (一社)愛知県警備業協会 前参事

- ウ 「無事故・無違反チャレンジファイナル100日ラリー」達成チーム表彰
令和5年9月23日(土)から同年12月31日(日)の100日間「無事故・
無違反チャレンジファイナル100日ラリー」を開催し、13チーム(各チ
ーム5名)が参加し、全てのチームが無事故・無違反を達成したことから、令
和6年度定時総会に先立ち、表彰式において会長表彰を授与する予定であ
る。

- エ その他功勞による協会長表彰

特殊詐欺防止、人命救助及び犯人逮捕に貢献し、警備業に対する社会的評
価を高め、他の警備員の模範となった6社11名の警備員にその都度表彰し
た。

労働災害防止活動の一環として募集した論文、ポスター、標語 806 点の中から審査の結果、優秀作品 9 点（論文、ポスター、標語各 3 点）について表彰予定である。

6 警備業に関する相談及び苦情の処理

令和 5 年度中、各種届出の要領などの相談の他、警備員の交通誘導の方法に関する苦情など 5 件を受理し、適正に処理した。

また、令和 6 年 4 月 1 日施行の警備業法等一部改正に伴う相談・質問等を多数受理し、適切に指導した。

7 警備技術等に関する調査研究及び教育関係図書等の紹介・斡旋

警備装備品等を取り扱う賛助会員の警備用品展示会を会議などの機会を捉えて積極的に開催し警備業務の装備資機材の周知を図ったほか、各種教育、講習に係る教育関係図書を積極的に斡旋し、警備員の資質向上と業界のレベルアップを図った。

また、令和 5 年 9 月 26 日（火）、名古屋市芸術創造センターで開催された警備員指導教育責任者研修会において、賛助会員による新作警備員制服などのファッションショーを行い、参加者に対して制服や装備品などの紹介に寄与した。

8 地域安全、交通安全、災害対策等の社会貢献活動の推進

(1) 愛知県警察に対する特殊詐欺被害防止機器等の寄贈

高齢者等を対象とした特殊詐欺被害が後を絶たず、依然として深刻な状況にあることから、社会貢献活動の一環として特殊詐欺被害、その他犯罪被害防止対策を目的に令和 5 年 10 月 6 日（金）、愛知県警察本部生活安全部に対して、デジタルサイネージ（50 インチモニター）2 セットを寄贈したほか、愛知県中警察署が実施した 2 回の犯罪抑止キャンペーンに参画し、啓発品を寄贈した。

(2) 特殊詐欺捜査協力報奨金制度

令和 3 年 7 月 1 日より運用を開始した当協会以下 4 団体で構成する「愛知県特殊詐欺撲滅プロジェクトチーム」による「特殊詐欺捜査協力報奨金制度」では、令和 5 年度中 24 件の制度適用（だまされたふり作戦により犯人が検挙された際の協力者への報奨金贈呈）がされている。

(3) 安全なまちづくり県民運動への参画

愛知県が実施する「安全なまちづくり県民運動」に積極的に参画し、令和 5 年 6 月 6 日（火）、愛知県安全なまちづくり推進協議会の出席、令和 5 年 12 月 8 日（金）開催の「年末の安全なまちづくり県民運動における特別啓発活動」に専務理事以下 4 名で参加するなど、県民に対する犯罪防止啓発各種活動により県民の犯罪抑止の醸成に寄与した。

(4) 交通事故防止などへの啓発活動

会員各社の警備員、従業員の交通安全に寄与するため、昨年度に引き続き、令和5年9月23日(土)から同年12月31日(日)までの100日間を「無事故・無違反チャレンジ・ファイナル100日ラリー」と銘打ち、交通事故防止、交通法令の遵守などの醸成を図った。

会員企業13チーム(1チーム5名)が参加し、すべてのチームが無事故・無違反を達成、令和6年度定時総会に先立ち実施される表彰式において表彰予定である。

(5) 暴力排除活動

ア 不当要求防止責任者講習の開催(3年ごと)

開催日 令和5年9月6日(水)

開催場所 名古屋市芸術創造センター ホール

参加者 各企業の不当要求防止責任者 92名

内容

- ・演題「責任者講習の意義など、暴対法、県暴力排除条例について」
(公財)愛知県暴力追放運動推進センター 専務理事 館 喜代孝 氏
- ・演題「暴力団の現状、動向、暴力団の取締状況」
愛知県警察本部刑事部組織犯罪対策局捜査第四課 藤原 勉 氏
- ・演題「不当要求の対応方法等」
(公財)愛知県暴力追放運動推進センター 講習部長 井上信一 氏
- ・ビデオ上映「決定的瞬間!これが不当要求だ」
- ・愛知県公安委員会から「終了証明書」発付

イ 愛知県警備業暴力団等反社会的勢力排除対策協議会役員総会の開催

開催日 令和5年9月7日(水)

開催場所 当協会 研修室

参加者 会長以下25名

来賓 同協議会顧問

愛知県警察本部刑事部組織犯罪対策局

捜査第四課課長 小林英資 氏

(公財)愛知県暴力追放運動推進センター

専務理事 館 喜代孝 氏

- ・議題「令和4年度事業報告、令和5年度の事業計画」
- ・講話
演題「暴力団等の現状と対策」
愛知県警察本部刑事部組織犯罪対策局捜査第四課
課長補佐 伊藤博康 氏

ウ 暴排関係会議

令和5年11月8日(水)、暴力排除団体連絡会議が開催され、愛知県警察本部刑事部組織犯罪対策局長、同捜査第四課長、(公財)愛知県暴力追放運動

推進センター専務理事などの他、暴力排除の関係団体が出席して暴力団の現状や不当要求対応事例などの報告があり、暴力団排除の意識の醸成を図った。

エ 暴追あいちの活用

(公財)愛知県暴力追放運動推進センターから発信される「暴追あいち」を当協会ホームページの会員用ページに掲載し、暴力団等の反社会的勢力の排除を会員に徹底した。

(6) 中部防災推進ネットワークへの参画

令和3年5月に参画した「中部防災推進ネットワーク」については、令和5年度中 21 回勉強会が開催され、中部における防災に関する各種問題点などについて関係団体と情報共有し、当協会における災害支援活動に反映した。

また、1月1日発生した令和6年能登半島地震における各団体の活動状況などの報告があり、当協会としても災害支援協力隊の派遣及び活動について報告した。

(7) 令和5年度愛知県・安城市総合防災訓練

令和5年9月3日(日)、愛知県安城市内・安城市総合運動公園等において南海トラフ巨大地震を想定した「令和5年度愛知県・安城市総合防災訓練」が開催され、藤木三河支部長、水谷災害対策等委員長、以下12名の災害支援協力隊に加え、協会事務局から専務理事以下2名が参加した。

(8) 愛知県警察本部交通部主催「災害時における交通規制(緊急交通路確保)訓練」への参加

令和5年9月1日(金)、南海トラフ巨大地震発生を想定した、緊急交通路指定路線での交通規制訓練が、名古屋市港区内の市道大江中線で行われた。同訓練には、上村南支部長、南支部・北東支部の災害支援協力隊員10名に加え、当協会から専務理事以下2名が参加した。

(9) 令和6年能登半島地震被災地への災害支援協力隊の派遣と支援募金の支出

令和6年1月1日、能登半島を震源とする最大震度7の能登半島地震が発生し、当協会から災害支援協力隊を被災地である七尾市に派遣するとともに、同年1月12日(金)、会長と専務理事が被災地に赴くと共に、(一社)石川県警備業協会会長に見舞金50万円を手渡した。

また、社会福祉法人中日新聞社会事業団に対して義援金及び会員からの募金を併せ51万1千円を寄付した。

9 本会の目的を達成するために必要なその他の事業

(1) 個人情報の適正な取扱い

認定個人情報保護団体として認定された全警協と連携し、個人情報の適正な取扱いを図った。

(2) 協会への加入促進と認定更新案内の実施

協会未加入の警備業者に対し、協会加入のメリットを積極的に発信して入会

を勧誘し、退会 9 社であるものの、入会 16 社と 7 社増となった。

また、認定更新案内 66 件を発出し、会員に対して認定更新手続きが期間内にスムーズに行われるよう対策を講じた。

(3) 愛知県証紙、諸用紙及び教育関係図書の斡旋・販売

各種申請・届出に必要な証紙、警備業務に係る教育関係図書を希望者に対して積極的に斡旋・販売するとともに、届出に必要な各種様式についてはホームページの会員ページに掲載し届出に誤りのないよう周知した。

(4) 警備業者賠償責任保険団体制度の周知

三井住友海上火災保険(株)が制度幹事保険会社となり全警協が令和 4 年 6 月から運用を開始した同保険団体制度について、各種会議・研修、支部研修会、機関紙等を通じ、積極的に周知に努めた。

(5) 「愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会への協力

2026 (令和 8 年) 9 月に開催予定のアジア最大のスポーツの祭典「愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会」成功のため、協会職員を派遣し警備業務面での協力を図った。

(6) 中部地区各県警備業協会との連携

中部地区警備業協会連合会事務局担当県として、各県協会及び全国警備業協会との連絡調整に努めた。

・ 定時総会及び春季会長等会議

開催日 令和 5 年 6 月 12 日 (月)

開催場所 愛知県 (東京第一ホテル錦)

出席者 (一社) 全国警備業協会会長 中山泰男

同専務理事 黒木慶英 他 1 名

中部 6 県協会会長、専務理事

(一社) 愛知県警備業協会副会長 5 名 計 22 名

主な議題

「令和 4 年度事業報告及び決算報告」

「令和 5 年度事業計画及び収支予算 (案)」

「特別講習講師の現状と新たな講師候補者の確保に向けた各県協会の取組」等

・ 秋季会長等会議

開催日 令和 5 年 9 月 4 日 (月)

開催場所 岐阜県 (長良川うかいミュージアム)

参加者 (一社) 全国警備業協会会長 中山泰男

同専務理事 黒木慶英

中部 6 県協会会長、専務理事

(一社) 岐阜県警備業協会副会長 等 計 20 名

主な議題 「深刻化する警備員不足の中での人材確保に向けた各県協会

の取組」

(7) 賛助会員による警備用品などの紹介

令和5年9月26日(火)開催した「警備員指導教育責任者研修会」において、賛助会員による新作警備制服などのファッションショーを開催するなど、斬新な企画による賛助会員の事業に寄与した。

(8) 印紙税についての講話

令和5年9月6日(水)、不当要求防止責任者講習終了後、名古屋国税局消費税課担当官を招致し、「印紙税の基本と実務」について講演を実施した。

(9) 役員による視察

加速する高齢化社会、人口減少などによる人手不足、更にはコロナ禍において激変した新たな生活様式やビジネススタイルに対応したデジタル技術やAIの活用等について学ぶため、令和5年10月13日(金)、東京ビックサイトで開催された「2023 危機管理産業展」及び「テロ対策特殊装備展 '23」に会長・副会長が視察を行った。

また、重要インフラ施設である原子力発電所における警備実施状況や原子力発電所における安全対策等について学ぶため、令和6年1月12日(金)、役員等18名が参加し、中部電力浜岡原子力発電所の視察を行った。

(10) 事務の合理化、効率化と体制の強化

業務の増大に対応し、会員サービスの向上を図るため、事務分掌の見直しを図るとともに、デジタル化を進めるため、FAXの廃止、講習の申込をはじめ、修了証明書の発行、入金などシステムを検討し早期対応を図った。

(11) 慶弔・傷病に対する表意

会員等の慶弔・傷病事案について、基準などに従い慶弔の表意及び見舞いを行った。

(12) 各種親睦行事の実施

会員相互等の親睦を図るため、令和6年1月16日(火)、「新年交礼会」を名古屋東急ホテルにおいて、愛知労働局労働基準部安全課長、愛知県警察本部生活安全部長、愛知県中警察署長など来賓のご臨席を得て、会員195名が参加し、盛大に開催した。

また、ゴルフ部会は、年度中5回開催、毎回多くの部会員が参加し、グリーン上での親睦を図った。